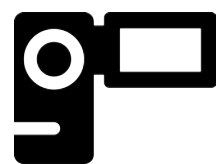




オンラインマニュアル 「Zoom」法座配信



主催者 編



目次

趣旨・・・・・・・・・・ 1

必要な機材・・・・・・・・ 2

役割・仕事・・・・・・・・ 5

オンライン活用事例・・ 7

YouTube編・・・・・・・・ 13

お問い合わせ -オンラインでお困りのことがございましたら-

本マニュアル/オンライン配信についてのお問い合わせ

真宗大谷派東京教務所 担当：佐々木弘明、渡邊楽

tokyo@higashihonganji.or.jp

TEL:03-5393-0810

在宅聴聞（マニュアル趣旨）

新型コロナウイルス感染症拡大を受け、感染リスクを抑えた社会活動を模索する中、授業・会議等のオンライン化も顕著です。「2年かかるデジタル革命が2カ月で果たされた」と言われるほどの変革が猛スピードで進みつつあります。

寺院においても多人数が集う行事は開催しにくく、開催内容の変更や休止が目立ちます。特に季節性インフルエンザと新型コロナの同時流行が危惧され、窓開け換気ができなくなる寒冷期は教化活動の停滞が予測されます。

ですがオンライン法座であれば、感染リスクを抑え教化活動が継続できるようになります。新たな「在宅聴聞（ざいたくちょうもん）」の提供です。お互いの顔を見ながら話せますから、外出自粛の中ではそれ自体が楽しみにもなります。本堂に参詣者をお迎えしZoomと併用することも可能です。地方から、出張先や入院先から、介護や育児で留守にできない方等、従来は不可能だった状況での参加が可能になります。

手紙やメール、掲示伝道、施本、ホームページからの発信等、オンライン法座以外にも様々な教化活動のカタチはあります。数名程度の小規模での輪読会、ヨガやピラティスなどもZoom配信に向いています。それらを組み合わせて教化活動を組み立て直す好機とも言えるのではないのでしょうか。



「Zoom」配信・主催者向けマニュアルです

本マニュアルでは、あくまで寺院の門信徒を対象とした「Zoom」による法座配信を取り上げています。なお、視聴しやすさはYouTubeが上回りますので、目的に応じて選択されることをお勧めします。巻末では「YouTube」配信も取り上げます。

ZoomとYouTube

現在オンライン法座にて主に使われているデジタルツールは「Zoom」と「YouTube」です。以下はその特徴、メリット、デメリットです。

Zoom 会議アプリ	◎メリット	双方向性優	グループ内配信に最適	通信量が少ない
	△デメリット	事前手続き必要	視聴ハードルやや高	録画視聴難
YouTube 動画視聴アプリ	◎メリット	不特定多数に配信	限定配信も可能	視聴が手軽
	△デメリット	双方向性難	通信量やや多い	

(1) Zoom法座 シンプル版 本堂等での法要、法話をZoom配信する場合

必要機材等：Webカメラ、三脚、USBマイク、パソコン、USBケーブル類、インターネット回線

推奨機材例（あくまで参考例です。動作を保証するものではありません）

- Webカメラ ・ロジクールC922n
・eMeet C960



ロジクールC922n

- USBマイク ・オーディオテクニカAT9933USB
・サンワサプライMM-MCU03BK



オーディオテクニカ
AT9933USB

Webカメラのマイクでも配信可能ですが、外付けマイクの使用を推奨します

- USB延長ケーブル ・Nimaso USB 延長ケーブル2.0m

- USBハブ（タイプC） ・QGeeM 7 in 1 USB Type C

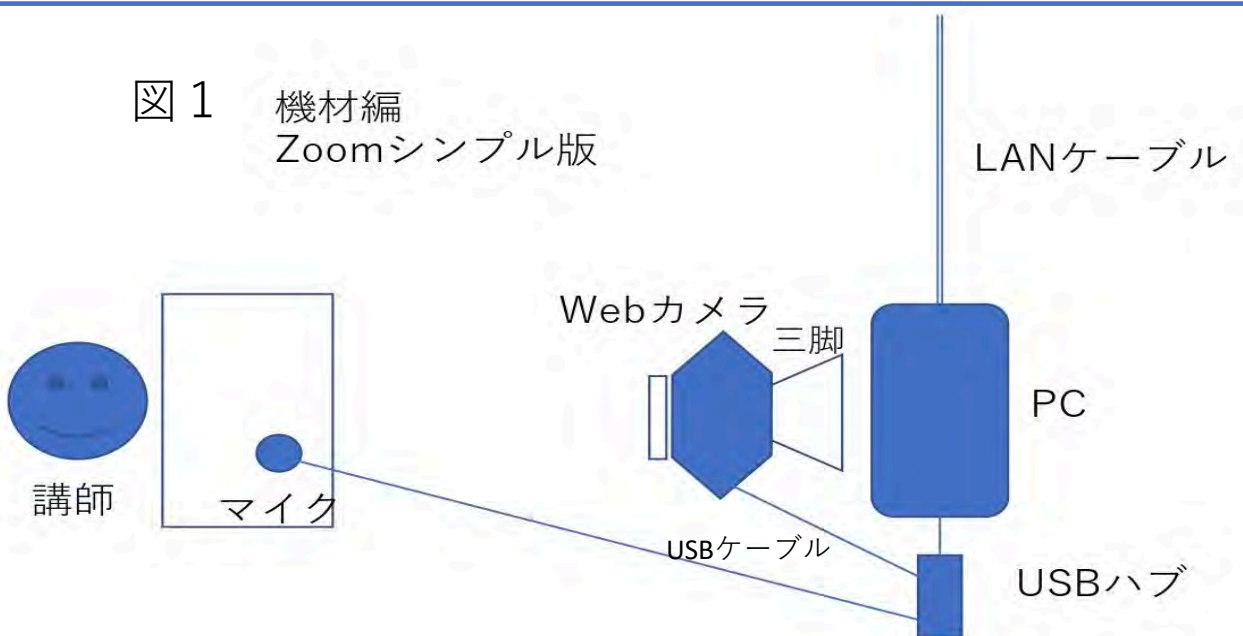


QGeeM 7 in 1 USB Type C

- パソコン推奨 CPU：Intel Core i5 2GHz以上 メモリ：8GB以上

- インターネット回線推奨 アップロード(上り)10Mbps~20Mbps以上
※有線LAN推奨、Wi-Fi（無線LAN）も可

図1 機材編
Zoomシンプル版



シンプル法座配信 機材予算（概算）

Webカメラ：10,000円
 マイク：5,000円
 ケーブル類：10,000円
 三脚：5,000円
 合計：30,000円

（パソコン、インターネット環境は除く）



インターネット回線について —Wi-Fi（無線LAN） < 有線LAN—

メッシュWi-Fi等を活用し本堂までWi-Fiを飛ばすことは大変有効です。ですが、料金と安定性を考えると、LANケーブルをルーターから本堂まで引いた方が安心お手軽です。30m、50mのLANケーブルもあります。ケーブルカテゴリーはcat5eかcat 6 Aをオススメします。

◎メッシュWi-Fi

Wi-Fiの死角をなくし、家中どこでも途切れない接続を提供するためのシステムです。メッシュWi-Fiでは複数のアクセスポイントを設置することで、より広範囲にWi-Fiを行き渡らせます。



メッシュWi-Fi Deco M5

◎回線速度計測サイト <https://www.speedtest.net>



◎LANケーブル 推奨例 サンワサプライ カテゴリ6A KB-T6ATS-30W（30m）

* インターネット回線やルーターに関しては業者にお問い合わせください。

参考情報

東京教区真宗寺院のインターネット回線事情は？

寺院（団体）	回線社・プラン	プロバイダ	ダウンロード（有線）	アップロード（有線）	IP version
G寺	Nifty光	Nifty	98mbps	98mbps	IPv4
Z寺	ドコモ光 1 ギガ		97mbps	71mbps	
R寺	ビッグロープ光	ビッグロープ	450mbps	600mbps	IPv6
S寺	au光5ギガ	au	700mbps	750mbps	IPv6
真宗会館	フレッツ光	ASAHIネット	98mbps	100mbps	IPv4

(2) Zoom法座 応用版 (ハイブリッド版)

本堂 (参詣者有り) での法要、法話をZoom配信。さらに参詣者、Zoom参加者と座談の場合

必要機材 : Webカメラ、三脚、オーディオインターフェース、モニター/プロジェクター、HDMIケーブル、パソコン、インターネット回線、音響設備 (本堂設備使用)

推奨機材例 (あくまで参考例です。)

○音響設備 (本堂設備仕様)

本堂のアンプ/スピーカー背面の出力端子からオーディオインターフェースを経由してパソコンに入力する

出入力端子例 : キヤノン端子、RCA端子、ライン (TRS) 端子

https://www.miroc.co.jp/rock-on/audio_interface_for_beginners/
オーディオインターフェース接続方法&活用術



- オーディオインターフェース
 - ・ベリンガーUM2 U-PHORIA
 - ・ローランド/GO:MIXER PRO



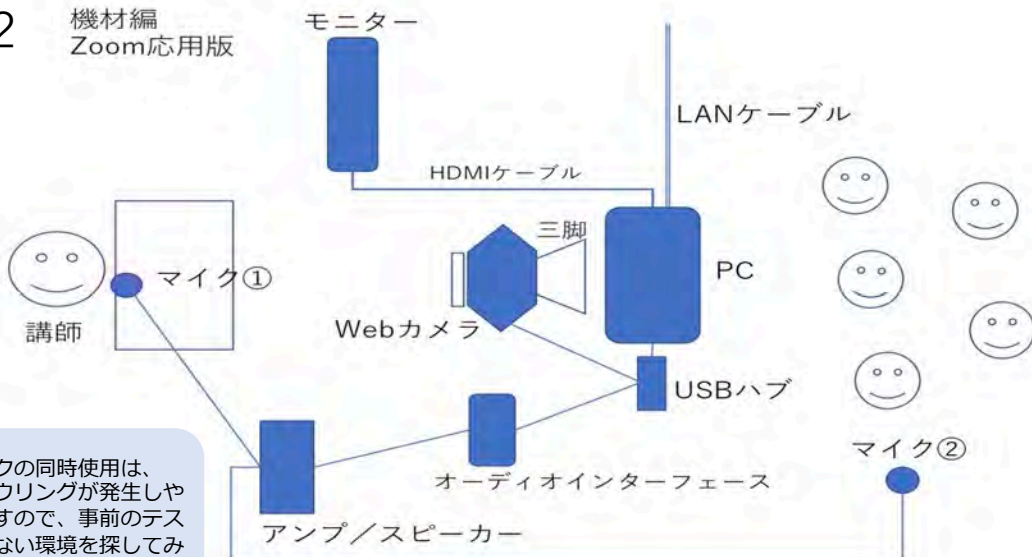
ベリンガーUM2 U-PHORIA

- モニター/プロジェクター Zoomの画面を本堂参詣者と共有する。
PCとモニターをHDMIケーブルでつなぐ



※ 座談では、係員が本堂用マイクを発言者に向けてください

図 2 機材編 Zoom応用版





役割・仕事について



オンライン法座主催者としての役割・仕事について、順を追って紹介します

—事前準備—

まずはご門徒とZoom招待情報を届けるためのオンライン上の連絡先（メールアドレス、ライン等）を交換しましょう。たとえ法座に参加するご縁が開けなくても、ご門徒との新たなコミュニケーションが始まります。毎日一度はメールをチェックし、当日中に返信するのがマナーです。

主催者のアカウントをZoomプロ（有料・月2000円）に変更する。

<https://zoom.us/pricing>

無料アカウントでは40分の時間制限があります。



パソコンを所有していても、Zoom利用には尻込みされる方もおられます。本人に代わってZoomを設定してくれるお子さんやお孫さんに相談するよう促すことも一案です。またお連れ合いの寺通いを快く思っていなかったご主人が、Zoomの設定を代行したことがきっかけとなり、夫妻一緒に聴聞されたケース、パソコンに詳しい孫と一緒に聴聞されたケースなど、思いがけない新たな出遇いが開かれることもあります。

初参加者には「カンタンなマニュアルもありますし、電話で個別にサポートします」と伝え、さらに開催事前に配信リハーサルを開催するとより丁寧です。

参加者マニュアル <http://www.ji-n.net/index.cgi>にてダウンロード



使い方動画 <https://www.youtube.com/watch?v=hnAD7KdkSKM>

—Zoom招待—

開催日が近づいたらZoom招待情報を送ります。初参加者がいる場合は、例えば14時～法座ならば、13時～入室可としてZoom操作に慣れてもらうと良いでしょう。当日の次第や勤行の該当ページをメールに記載、または勤行該当ページやレジュメ（法話資料）等をpdf形式でメールに添付して送ります。

ミーティングをスケジュールし、ミーティングに招待する

<https://note.com/machigoto/n/n3cd9a5676228>



アプリ？

Zoomアプリをインストールしていないご門徒でもWebブラウザ（PCのみ）でZoomに参加できます。ぜひ設定しましょう。

<https://symphonict.nesic.co.jp/workingstyle/zoom/no-install/>

主催者アカウント → 設定 → ミーティングにて（詳細） → 【「ブラウザから参加する」リンクを表示します】をオンにする



—Zoom法座当日—

本堂参詣者・オンライン参加者が混在するZoomハイブリッド法座の場合には、オンライン参加者にも入室時点で「こんにちは」「ようこそ！お元気ですか？」等、個別に一声かける気遣いが大切なようです。

◎ミュート（消音）

オンライン参加者には「ミュート（消音）」とその解除法を確実に伝えましょう。参加者の1名が不用意にミュート解除したことで、法話中に生活音が響いて全参加者が集中して聴聞できなくなったことがあります。

全参加者をミュートにするホスト（主催者）機能

<https://it-counselor.net/zoom-operation-pc/zoom-muteall-pc>



モニター視聴での聴聞は疲れますので、40～50分毎に10分休憩するような進行為が望ましいようです。本堂に参詣者がおられるなら、換気タイムにもなります。

◎法話

法話については、堂内参詣者とカメラを半々程度に視線を送り、できるだけゆっくりハッキリと話すように心がけます。ホワイトボードの場合には黒文字以外は見えにくい場合があるようです。法話中に「板書は読めますか？」という具合に参加者に時折話しかける、「画面共有」機能を用いて、資料としての画像（写真）を示す等、単調さを破る工夫も大切です。

画面共有とは <https://zoom-support.nissho-ele.co.jp/hc/ja/articles/360004794852>



◎座談

Zoomは双方向に話し合えますから、質疑応答や座談の時間を設けることを薦めます。座談の難しさはオンラインでも変わりませんが、話し出すタイミングがつかみにくい時には指名した方が話しやすい場合もあるようです。中にはオンラインならでの気安さ、話しやすさを感じている方もおられます。

◎Zoom法座のあとに

法座終了後に感想や質問が書かれたメールが届くことがあります。個別にやり取りできる意味でもメールは大切です。また、参加者に御礼メールを送るなどのご縁づくりも欠かせないことです。

オンライン参加の際にも、「念珠は必携、居ずまいを正して聴聞下さい」とお伝えすることが大切なようです。また本堂参詣者と同様に、志・参加費をいただくことも参加意識を高める上で大事なことです。便利さが安直化につながり、仏法聴聞の本来の意義が損なわれる一面は念頭に置くべき要と思われれます。

ZoomやYouTubeでの配信事例の紹介です

真宗会館 (Zoom配信) (YouTube生配信)

- ◆ 聖典学習会 6/15 東京教区教化委員会研修部門 (Zoom配信)
- ◆ まくはり会 5/20 東京真宗同朋の会 (Zoom配信・ハイブリッド)
- ◆ サムドラの会 8/29 東京真宗同朋の会 (Zoom配信)
- ◆ 青年学習会 9/17 東京教区教化委員会青少幼年部門 (Zoom配信)
- ◆ 東京真宗同朋の会 報恩講 10/11 (YouTube生配信)
- ◆ 日曜礼拝 10/18 首都圏教化推進本部 (YouTube限定生配信)



聖典学習会 (10/12)



東京真宗同朋の会 報恩講 (10/11)

- ・ 日程は全て2020年。複数回開催は初回のみ記載
- ・ 2020年10月30日までの一部事例です

川崎組善照寺 堀川秋芳住職 年忌法要 (Zoom配信・ハイブリッド)

新型コロナウイルス流行拡大のためZoomを使用した年忌法要を行いたいという連絡がありました。田舎の親戚にZoomで参加してもらい、東京近辺に住んでいる者だけ集まるとのこと。このご門徒さんの墓地がある霊園の法要室はネット環境が整っていないとのことでしたので、今回はお寺の本堂でZoom年忌法要を行うことになりました。

法要では『阿弥陀経』をお勤めするので、Zoomで参加する親戚に経本を送ったらどうかと提案し、10部ほど送っていただきました。法要当日は施主さんにご自分のカメラや三脚、ノートパソコンを持参してもらい、ご自身でセッティングしてもらいました。本堂には50メートルのLANケーブルを引いておりますので、そちらにつなげてもらいました。

法要30分ほど前からZoomのミーティングルームをひらき、親戚の皆さんに入ってきてもらい、いざ法要スタート。Zoomはつながっておりますが法要自体はいつもと変わりません。親戚の皆さんも画面の向こうで『阿弥陀経』をいただけたみたいです。

あくまでZoomは補助的な役割ですが、法事においてはお越しになれない親戚や友人をつなぐとても重要なツールになると感じました。今後は手頃な機材を購入してこのような法要に対応していきたいと思っています。



- ◎インターネット：有線LAN
- ◎使用機材等：施主の持参品

東京 5 組明福寺 中根信雄住職 彼岸法要 (Zoom配信・ハイブリッド)

新型コロナウイルスの影響を受け、法要や同朋会を休会、中止にする中で、例年は1座法要を勤め、そこに40人前後参詣していた9月の彼岸会法要をどのように開催するかを検討しました。

当初は安全を考えオンラインのみでの開催を検討しましたが、ご門徒さんとお話する中で、ネット環境が整備されていない方も一定数いることがわかりました。そのため定員を10人に設定し、法要数を増やし、重ねてZoomでも配信することにしました。

参詣者も分散されてお参りし、Zoomにおいても、初めてお勤め、お話を聞いてくれた方もみられました。(Zoomへは2台のスマホで別々にログイン。2台のスマホカメラを使い、同一Zoomで配信)

- ◎インターネット：有線LANを本堂までつなぎ、そこから無線LANルーターで接続
- ◎使用機材等：講演台上にノートPC、儀式撮影用にスマホ1台、法話撮影用にスマホ1台



東京 8 組源通寺 小笠原翔副住職 彼岸法要 (YouTube生配信)

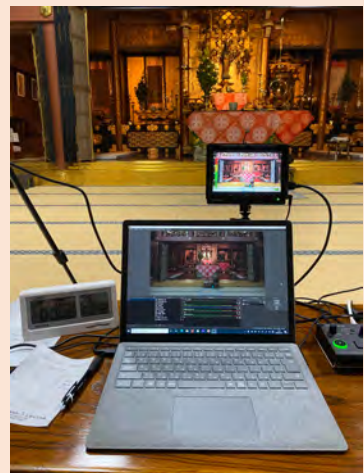
自坊の秋彼岸法要を初めてYouTube生配信(自坊門徒限定)にて勤めました。配信前の私(配信側)の正直な気持ちは不安が大きかったです。理由としては配信トラブル。事前に出来る限りの情報収集(主にWebサイト)はしていましたが、初めての生配信ということもありトラブルへの対処が想像し難かったからです。

途中パソコンの充電が上手く出来ていなかった(充電器の不具合)ことにより配信が止まってしまったが、復旧後はトラブル無く終了。

配信を終えた翌日、視聴してくださった御門徒から早速感想を頂きました。この御門徒は普段の法要には来たことのない方でしたが、配信で初めて寺の法要の流れを知ることができたということでした。またノートを書きながらご視聴下さったようで、「今度の法要は本堂で参詣したいと思った」とも言ってくださり、これには一先ず勢いで始めた配信ではあるがやって良かったと思いました。

- ◎使用機材等
 - ・カメラ：ビデオカメラ Sony(FDR-AX60) / JVC(Everio R)
 - ・キャプチャー：Elgato Cam Link 4K ・スイッチャー：Roland(V-02HD)
 - ・音響：Panasonic(WS-X77 ワイヤレススピーカーシステム)
 - ・マイク：(Panasonicワイヤレスハンドマイク、ワイヤレスピンマイク)
 - ・使用ソフト：OBS
 - ・パソコン：Surface Laptop3 (core i5-7200U 2.50GHz)

- ◎インターネット：有線LAN



当初、拙寺では報恩講以外の法座はお参りもさほどなく三密とならないこと、また高齢化の進んだ当地域ではオンライン法座参加者は見込めないため、配信の必要は無いと考えていた。

しかし千葉組親鸞教室をZoomで開催することになり、拙寺秋彼岸会もオンラインでの開催を試みることにした。

参加を寺報や個別に呼びかけたところ、意外にも遠隔地に住むご門徒や新型コロナウイルス感染症罹患を心配する20名ほどのご門徒からの参加の申込みがあった。

秋彼岸会は、YouTubeライブ限定公開で配信し、音声流れないトラブルが生じ失敗したが、休憩後の法話は当日の午後なんとか配信できた。

◆今後の展望

オンラインに抵抗がない高齢者や若い世代にはたらきかけるチャンスと捉え、まず本年報恩講（11/20・21）にオンライン参加の催促をしている。

その為に門徒のメールアドレスと携帯電話番号の入手に取り組んでいる。

◎勝善寺ちゃんねる

<https://youtu.be/M5GChf0BeQo> 10月12日月曜朝のお勤め 試行

<https://youtu.be/uopTyZsLNNQ> 9月22日秋彼岸会 同朋唱和音声流れず失敗

https://youtu.be/qFdFqA89K_w 9月22日秋彼岸会 法話（録画し後で配信）

最初の60秒マイクスイッチ off でした。※オーディオインターフェース（ベリンガーum2）でワイヤレスマイクの音をパソコンに取り込んでいたつもりでいたが、スピーカー（Panasonic WS-X77）から出た音をパソコン内蔵マイクが拾っていた。

◎カメラ：Logitech HD Pro C920 ※報恩講に向け、カメラの切り替え、ワイヤレスマイクなど2～3本使うかを検討中

◎インターネット：有線 本堂までLanケーブル50メートル Ipv4

自身初のオンライン法座は東京6組組間法会にて開催をいたしました。事前テストは2度ほど行い、その際は特に問題点は生じませんでした。ですが本番当日に閉式の恩徳讃（iPadにデータとして保存）が流れず、予備として用意していたZoom接続用PCにて直接流す方法をとりました。後日改めて試験を行った際、問題は解消しiPadより流すことができました。原因は不明ですが、今後も気を付けて操作していきたいと思えます。

オンライン法座の問題点としてはZoomもしくはYouTubeにて聴聞される方と来聴された方との温度差をいかになくすかが大事だと考えています。事前のレジュメ準備、自宅にいながらもなるべく会場にいるような雰囲気づくり、この点が非常に大切だと思うのと同時に、運営側の力量（見せ方や臨場感の演出）が試されるように思えます。

◎使用機材

カメラ SONY HDR-PJ800（ビデオカメラ）、NIKON Z50（ミラーレス一眼）

プロジェクター BENQ

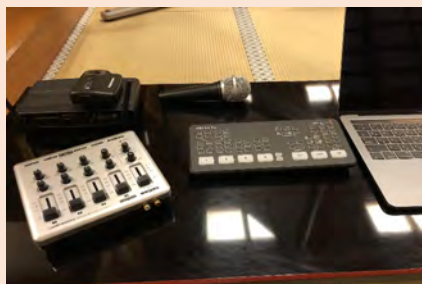
マイク SHURE PGA48（有線）、audio-technica system10（ワイヤレス）

ミキサー audio-technica AT-PMX5P（ポータブルミキサー）

スイッチャー atem mini pro

スピーカー YAMAHA MS101 II（モニタースピーカー）

◎インターネット：NURO光 報恩講より有線にて配信予定



◆教化活動におけるオンライン活用

A 定例行事(彼岸法要・報恩講など)→YouTubeの限定公開にて配信

- ・本堂座席は15名限定にしているため、入りきれない方々は書院仏間のモニターで参拝。
- ・自宅などからオンライン参拝を希望の方には、YouTubeの限定公開にて配信。
- ・ご門徒へは案内状 (QRコードも記載) とホームページにて案内。

B 法話会 (仏教入門講座) →Zoomにて法話配信、座談を開催。

- ・ご講師が遠方のため、自坊からZoomにて法話を配信してもらい、本堂講演台の上にモニターを設置して合同視聴会を開催。
- ・自宅などからオンライン参加を希望の方は、Zoomにて視聴。
- ・双方向のWEB会議システムのため座談・質疑も開催可能。
- ・ご門徒へは案内状 (QRコードも記載) とホームページにて案内。

C 法事 (年忌法要など) →WEB会議システムにて執行。
(寺で設定する場合はzoomを利用)

- ・電話で打ち合わせし、必要であれば「勤行本」「法話資料」「炭」などを送付して勤修。



Zoom 年忌法要

◆オンライン活用についての所感 (趣旨・きっかけ・展望)

A 定例行事(彼岸法要・報恩講など)

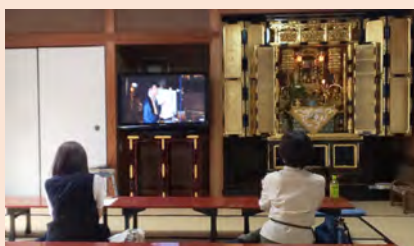
春彼岸法要(3月)、永代経法要(5月)は内勤め(読経のみで法話・お斎は中止)を余儀なくされ、7月のお盆法要は短時間日程で午前・午後の二座制として開催。本堂内に入りきれない方々のためのモニター視聴は従来からの課題であったので、この際YouTubeの限定公開として開催することを決定。設営さえすれば当日は流しっぱなしにできるので、配信側は手間いらずであり、視聴する方も申込不要なので気軽に参拝できると思われる。ただし、視聴人数しか把握できず、アフターフォローができないことが難点。新型コロナ終息後の活用も検討。

B 法話会 (仏教入門講座)

- ・6月例会からオンライン試行中。総数は減ったが新規参加者も。新型コロナ終息後の活用も検討。
- ・オンライン座談は言葉が際立つので質疑には向いているが、全員参加の座談にはなりにくい。

C 法事 (年忌法要など)

- ・オンライン年忌法要は、それが当たり前になってしまうと良くないと躊躇していたが、ご門徒の問い合わせもあり数回試行。本堂(住職)と家庭のお内仏(ご門徒)と離れているが、違和感なく勤められた。新型コロナ終息後も体調の悪い方や遠方家族のための選択肢として検討。



秋彼岸法要

◆使用機材

- ・カメラ (1)ロジクール「STREAMCAM C922」→講師用
(2)エレコム「UVC WEBカメラUCAM-C980FBBK」→本堂全景用
- ・マイク→従来から使用のマイクをオーディオインターフェース (ART USB Mix Project Series) に接続。
- ・その他→配信ソフトは「OBS Studio」

◆インターネット環境

- ・プロバイダー : plala(ぷらら)
- ・インターネット : Wi-Fiも使用できるが、念のためLANケーブルで有線接続。
- ・Ipバージョン : Ipv6

オンライン活用事例 寺院一覧

所属組	寺院	配信種別	活用事例	通信
茨城1	浄善寺	Zoom・Facebook Live	音楽の講・彼岸会・報恩講（予定）	有線
<p>機材：家庭用ビデオカメラ、スイッチャー、既存の音響システム、地元ケーブルTVのカメラ（音楽の講）</p> <p>備考：音楽の講：Zoom参加30名、Facebook Live視聴約90名 彼岸会：Zoom参加6名、Facebook Live視聴約100名 その他：ご門徒向けにZoom講習会参加10名 ※個別講習10名程度 ※男性より女性のほうが積極的に参加</p>				
茨城2	浄安寺	YouTube live・google meet	盂蘭盆会・彼岸会・報恩講（YouTube）法事（google meet）	有線
<p>機材 カメラ：一眼レフ（2台）、家庭用ビデオカメラ（2台）ミキサー、スイッチャー</p> <p>備考：盂蘭盆会の告知をYouTubeで配信。法事3名（本堂無人）。 https://www.youtube.com/channel/UCDUtniQi5Xi3s8dkzDXG2jQ?</p>				
埼玉	了善寺	Zoom	法事	有線＋Wi-Fi
<p>埼玉と神奈川県川崎市をつないだ。本堂にも参詣あり。ご門徒からのリクエスト。</p> <p>Zoom法事を依頼されて、一番困ったのは、本堂にはWi-Fiが届いていないことです。モデム（庫裏）とWi-Fiのルーター（本堂の手前）を30メートルのLANケーブルで結び、Wi-Fiルーター（本堂手前）とノートパソコン（本堂）は、Wi-Fi接続した。</p>				
埼玉	證大寺	Zoom・YouTube	法事（Zoom）・聞法会・お朝事（YouTube）	有線
<p>機材 ホームビデオ1台</p> <p>法事：simカード付タブレットをご門徒に送付し、Zoomでつなぐ。 タブレットは10台程度所有。年配の方へのタブレット操作の説明が課題。</p>				
横浜	横浜組門徒会	Zoomハイブリッド	聞法会（11/12）（予定）	有線
<p>横浜別院にて、参詣者とZoomをつなぎ聞法会を行う予定。</p> <p>機材 カメラ：一眼カメラ マイク：場内マイク設備を使用 ※東京4組願正寺竹川氏に設営及びオペレーターを依頼</p>				
東京1	圓照寺	YouTube・Zoom	お盆法要・俳句の会・自主学習会	
<p>機材 カメラ：iPadPro、Sony ZV-1 備考：YouTubeチャンネル開設</p>				
東京4	願正寺	YouTube live・Zoom	盂蘭盆会・年忌法要	有線
<p>機材 カメラ：Panasonic GH3、ワイヤレスマイク：Rodewirelessgo スイッチャー：atem mini pro</p>				

所属組	寺院	配信種別	活用事例	通信
東京5	正徳寺	YouTube	永代経・ミニ法話・声明会・報恩講（予定）	
<p>機材 カメラ：iPhoneXS、マイク：オリンパスLINEAR PCM RECORDER LS-7 ZealSoundコンデンサーマイク 編集：Mac book Air、編集ソフト：iMovie 備考：録画をYouTube配信（視聴数100～4000回） 正徳寺チャンネル：https://youtube.com/channel/UCk4-cv2kh3MPnMsVlkRzVyg</p>				
東京5	存明寺	Zoom	同朋会・報恩講	有線
<p>9月・10月同朋会 本堂参詣11名+Zoom26名 11月3日報恩講 長崎から法話Zoomライブ配信（予定）</p>				
東京6	光明寺	Zoom	終活セミナー・同朋の会	Wi-Fi
<p>機材 カメラ：iPhone11（アプリはIriun Webcam）PC：MacBook Pro16(Corei7) マイク：RACE Bluetoothヘッドセット（k10c） 終活セミナー：5月はZoomにて25名ほどの参加。8月は寺に6名、Zoomで15名ほどの参加。 10月は31日にハイブリッド型にて実施予定。 同朋の会：3月～5月は休止。6月より再開。8月よりZoomを活用。毎月の寺への参加はおよそ10名。 Zoom参加は、8月が5名、9月は3名、10月は1名。 8月にZoomで参加の一人が9月には寺で参加。</p>				
東京6	了善寺	Zoomハイブリッド	同朋会〈毎月2回〉・6月臘扇忌・7月盂蘭盆会・8月香草忌・9月彼岸会・10月報恩講（2日間4座の内3座配信）（東京真宗同朋の会「まくはり会」）	有線
<p>機材 カメラ：ロジクールC920n マイク：常設機材（ミキサー：ベリンガーX1204からUSBケーブルでPCに音声供給） PC：日本HP 第8世代core i5・8GB</p> <p>5月13日同朋会から、全て本堂参詣12名+Zoom参詣のハイブリッド開催。</p> <p>参考：6月7日臘扇忌〈石川県松任からライブ配信〉 本堂15名+Zoom30名+大分勝福寺8名 6月10日同朋会（和讃に聞く）本堂4名+Zoom16名 6月28日同朋会（清澤師に学ぶ）本堂10名+Zoom12名 8月30日香草忌〈石川県金沢市からライブ配信〉本堂11名+Zoom25名 10月24・25日報恩講〈25日三重県桑名から池田勇諦師ライブ配信〉 4座中3座Zoom配信 本堂+客間=20名限定/Zoom参加30～64名+桑名西恩寺10名</p> <p>※法話後に「桑名西恩寺参詣者」「東京了善寺参詣者」「全国Zoom参詣者」の全てから発言があり、当初予定の50分を超過して80分のサンガ交流の場が創出された。</p>				

2020年10月26日現在

ヒヤリング及び各組長からの提供
情報をもとに事例を抽出して掲載。



YouTube編 (中・上級者向け)

2台のカメラで法座をYouTubeで生配信する場合 (あくまで例です。方法は様々です)

YouTube編 推奨機材例 (例です)

- 一眼カメラ Panasonic GH4、PanasonicG100など

動画配信可能なカメラは一部に限られています。
HDMIクリーンスルー機能、またHDMIスルーが時間無制限であるか確認



- ビデオカメラ

一眼カメラは確かに綺麗ですが、やはり難度が上がります。
最初はビデオカメラをおすすめします。



- オーディオインターフェース

- キャプチャーボード カメラの映像をPCに取り込みます
Elgato Cam Link 4K
これが定番ですが、安価なものも沢山あります



- スイッチャー Roland V-02HD
ATEM MINI PRO (スイッチャー、キャプチャーボード、音声ミキサーを兼ねる優れたもの)

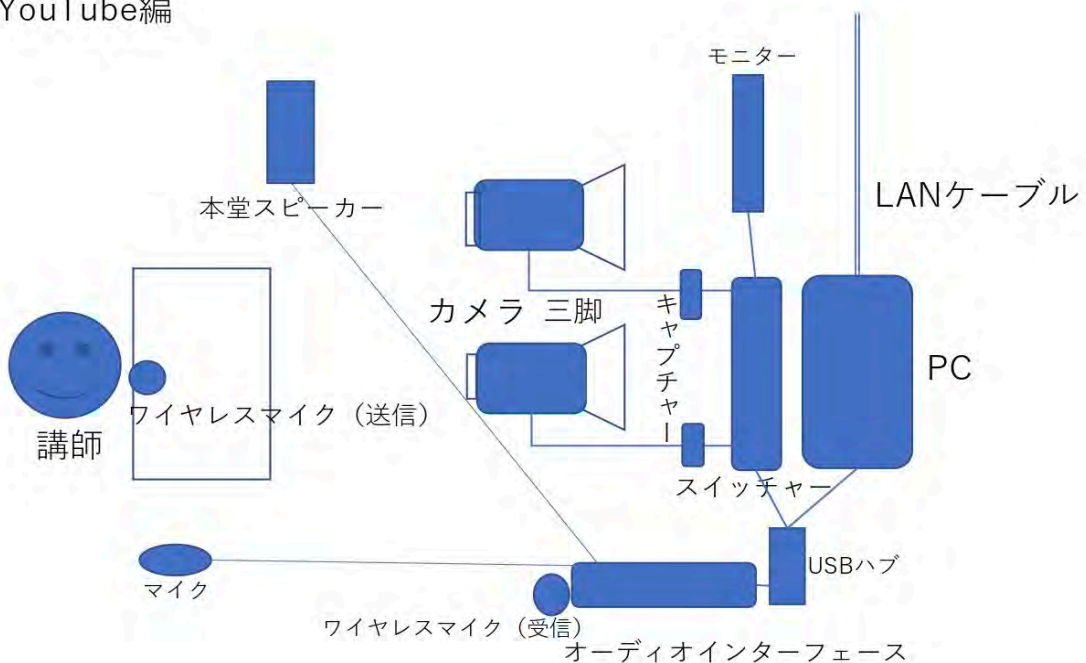
- ワイヤレスマイク Rode wireless go など





- OBS 動画配信ソフト (定番中の定番無料ソフト)
<https://degifeel.com/obs-studio-download-introduction/>
<https://vip-jikkyo.net/how-to-use-obs-studio>



☒ 3 YouTube編



◎配信手順

- ・YouTubeアカウントを作成し、ライブ配信を有効にする（設定から24時間で有効に）
<https://digitaldiy.jp/article/creator/6099/>
- ・ライブ配信をスケジュール設定する
<https://vip-jikkyo.net/schedule-a-live-stream-on-youtube>
- ・ライブ配信のURLを取得し、QRコード化する
<https://qr.quel.jp>
- ・門信徒にURL、QRコードをお知らせする
- ・配信準備、OBSを設定し配信
OBSの使い方情報はインターネット上に大量にあります。検索して調べてください

※ スマートフォンでは、YouTubeライブ配信に使用制限があります

zoom からのYouTube 配信

Zoomの機能を使って、ZoomからYouTubeライブを配信することができます
これにより、双方向性と手軽視聴・多数配信を両立させた配信が実現します

<https://note.com/tkykmts/n/ne786ac3846ae>

<https://biz.toyokeizai.net/column/detail/id=1317>

Zoomを使ってYouTubeLive配信する方法



オンラインマニュアル **Web版** について

真宗大谷派東京教区HP（暮らしにじいーん）

<http://www.ji-n.net/index.cgi> にてダウンロードできます。

※ Web版は随時バージョンアップし、東京教区HPにアップロードしていきます

主催者編

参加者編

ともにダウンロードできます。

オンラインマニュアル「Zoom」法座配信 主催者編 2020年10月30日発行

編集：真宗大谷派東京教区 オンラインマニュアルプロジェクト

・オンラインマニュアルプロジェクト

真宗大谷派寺院のオンラインに関する課題を共有し、マニュアル作成等により課題解決をサポートすることを目的とする

メンバー	竹川 英紀	東京4組 願正寺	プロジェクトチーフ
	朝倉 俊隆	東京5組 報土寺	
	中根 信雄	東京5組 明福寺	
	百々海 真	東京6組 了善寺	
	小笠原 翔	東京8組 源通寺	
	堀川 秋芳	川崎組 善照寺	
	佐々木弘明	東京教区駐在教導	
	湯口 暁	首都圏教化推進本部本部員	